

大久野島・未来づくりワークショップ

第4回：2020年1月17日（金）13:00-16:00 竹原市民館



環境省中国四国地方環境事務所 常富 豊より
開会の挨拶



アイデアシートを精査し完成させるワーク



二人組で検討



閉会は拍手で締めくくられた

課題解決に向けた方向性を共有しました

第1回では「本事業到達点の確認と関係性づくり」、第2回では「勉強会に基づく視点の共有」、第3回では「課題解決に向けた方向性の検討」をしてきました。最終回の第4回では、大久野島の将来像について一定の方向性を共有するため、「ふれあい」「ウサギ管理」「観光」「全体」という4グループに分かれて、グループで合意がとれたアイデアシートをもとに、さらに内容をブラッシュアップするワークショップを実施しました。

146

全4回の参加者

10月からスタートした
ワークショップ参加者数

4

視点

「ふれあい」「ウサギ管理」
「観光」「全体」の4グループで検討

36

アイデア

各グループで最終的に完成したアイデアの数

「課題」と「大久野島の未来」を確認

全ワークショップの成果を出す第4回のワークショップのスタートは、これまでの振り返りからです。再度「議論のルール」の確認も行いました。課題がまとめられた資料の確認に加え、大久野島の未来について「目指す姿」と「実現のためのプロセス」がまとめられた資料案がファシリテーターより示されました。プロセスは4つのステップとなり、「合意形成の場づくり」→「共通のルールや方針の検討」→「ルールに基づいた取り組みの実施」→「実施効果のモニタリング」というPDCAサイクルを繰り返すものとなることを確認しました。

アイデアシートの精査と完成

「目指す姿」は上記の4つのステップの視点からあげられており、この内容をグループで精査する作業を行いました。グループ内でさらに二人組をつくり、シートの中の足りない情報や、わかりにくい表現の修正や説明を加えました。アイデアによっては、他のグループに集約されるものもありました。「〇〇を〇〇する」という表現に統一し貼り出し、グループ内で共有したり、他グループのアイデアも確認しました。

『大久野島未来づくりノート』

4回のワークショップ及び勉強会を通じて、参加者が議論をしながら探ってきた大久野島の管理や利用のあり方に関する方向性を記録した冊子の案『大久野島未来づくりノート』が披露されました。参加者がワークショップの内容を振り返るとともに、多くの方と共有するために作成される予定です。また今後の大久野島の利用や管理を検討する際の骨子になりそうです。

参加者の声

最後にワークショップ4回を通して、感想と今後への期待、評価を個人で記入して終了し、常富豊（環境省中国四国地方環境事務所）より感謝と引き続きの協力お願いの言葉で閉会しました



“自分の価値観に多様性がうまれた”

“話し合いの場を継続してほしい”

“案の具体的な実行を期待したい”

(感想から抜粋)

「大久野島未来づくりシンポジウム」開催について

最新の調査結果をもとに大久野島の現状を紹介して、ワークショップの成果について報告することにより、今後の島のありかたについて多くの方たちと知見や意識を共有したいと思います。島の価値や魅力を伝えていくために必要なことを、一緒に考えていきませんか。

日時：2020年2月11日（火・祝）13:30～16:30

場所：サテライトキャンパスひろしま（広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター5階

定員：150名 参加費・申込み：不要（開始時刻までに会場にお越し下さい）